

第2期四国中央市まち・ひと・しごと創生
総合戦略の取組について

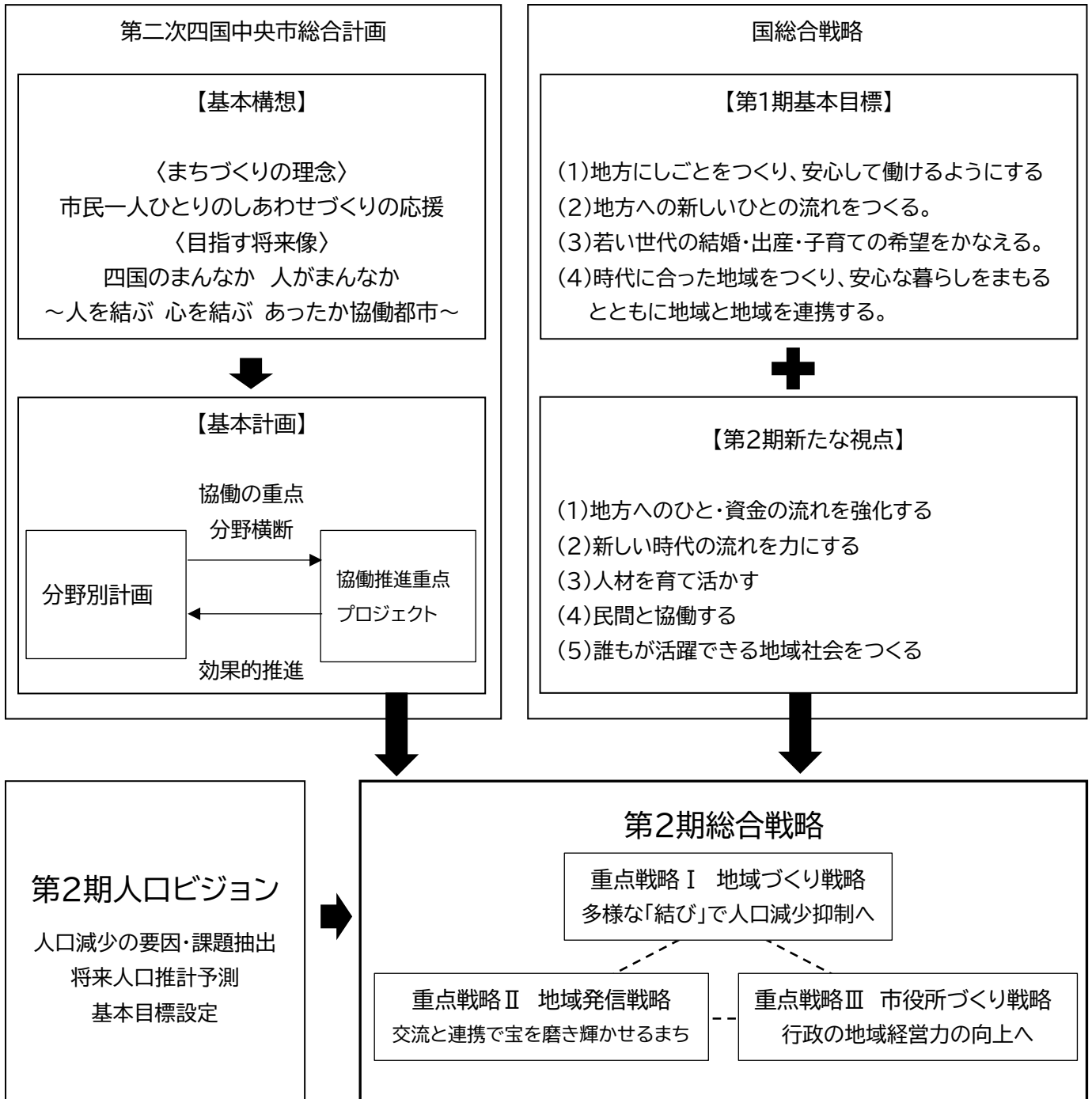
令和4年11月30日

第7回総合計画審議会資料

1 総合戦略の概要について

総合戦略は、第二次四国中央市総合計画及び国の第2期総合戦略や今後の社会情勢の変化を踏まえ、人口減少対策に効果・実行性のある取組を戦略的に進める計画として、令和2年3月に策定しました。対象期間は、令和2年(2020年)度から令和4年(2022年)度までの3年間とし、最終年度を第二次四国中央市総合計画の期間に合わせています。

(1)四国中央市総合計画及び国・県総合戦略との関連性



(2)人口推移と人口データの特徴

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると本市の人口は、令和 27 年(2045 年)には 63,898 人、令和 42 年(2060 年)には 51,261 人となり、人口減少が進むと試算されています。

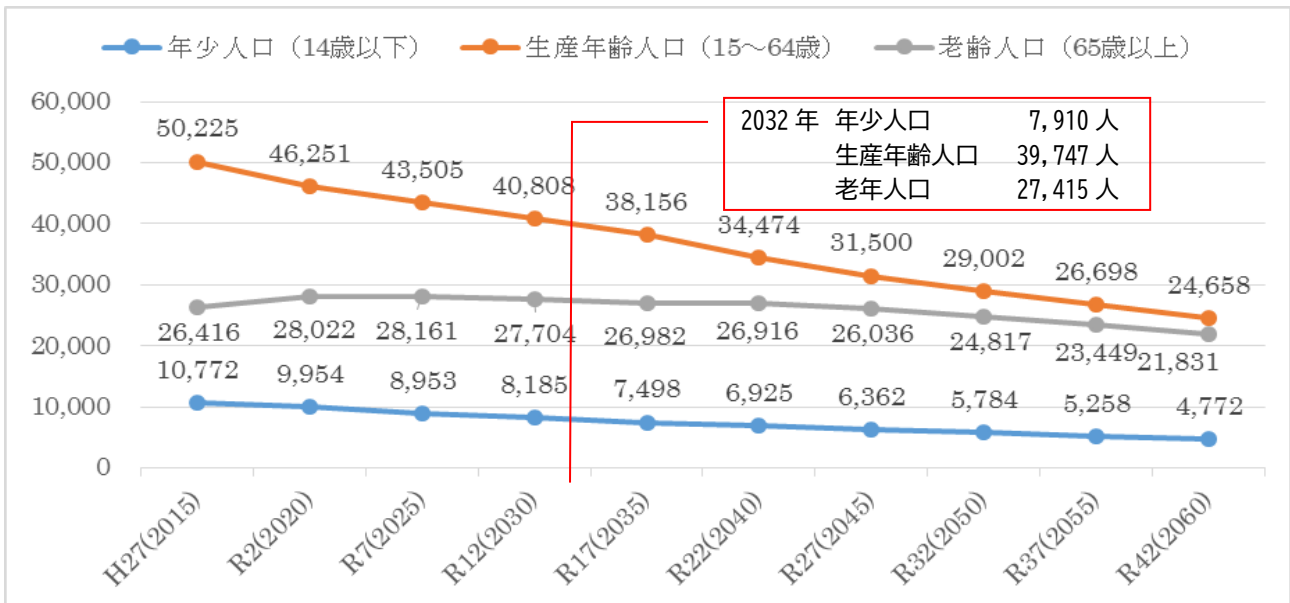
また、本市の総人口に占める生産年齢人口割合は、平成 27 年(2015 年)の 50,225 人から令和 42 年(2060 年)に 24,658 人と半分以下にまで急速に減少することに加え、年少人口割合は平成 27 年の 10,772 人が令和 42 年には 4,772 人と約5割まで減少するとされています。

これに対し、老年人口の割合は、平成 27 年の 26,416 人が令和 7 年(2025 年)に 28,161 人まで増え、この年をピークに減少し続け、令和42年には、21,831 人まで減少するとされており、長期的・継続的な人口減少と少子高齢化の進行による様々な影響が懸念されています。

a. 将来人口推計



b. 年齢 3 区分将来推計人口割合【パターン 1(社人研推計準拠)】



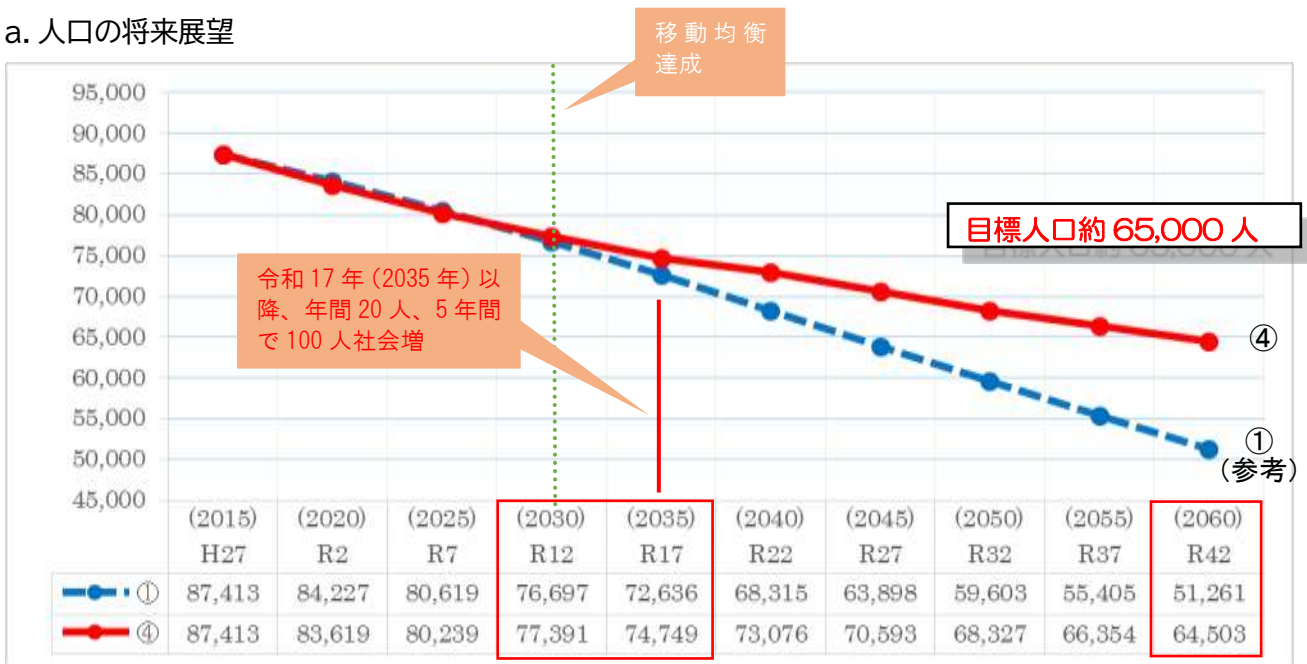
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(3)目標人口 令和42年(2060) 65,000人

本市では、国や県の長期ビジョンを勘案し、人口の将来展望を整理した結果、令和12年(2030年)に約77,000人、令和42年(2060年)に約65,000人の人口を達成し、その後維持を目指すこととしました。

- 施策を講じないで、現在の人口動向が続いた場合の推移⇒令和42年に約5万1千人
 (【参考①】国立社会保障・人口問題研究所の推計)
- 目標人口65,000人を達成するためには・・・
 - ・合計特殊出生率を令和12年(2030年)に1.8、令和22年(2040年)に2.07に向上

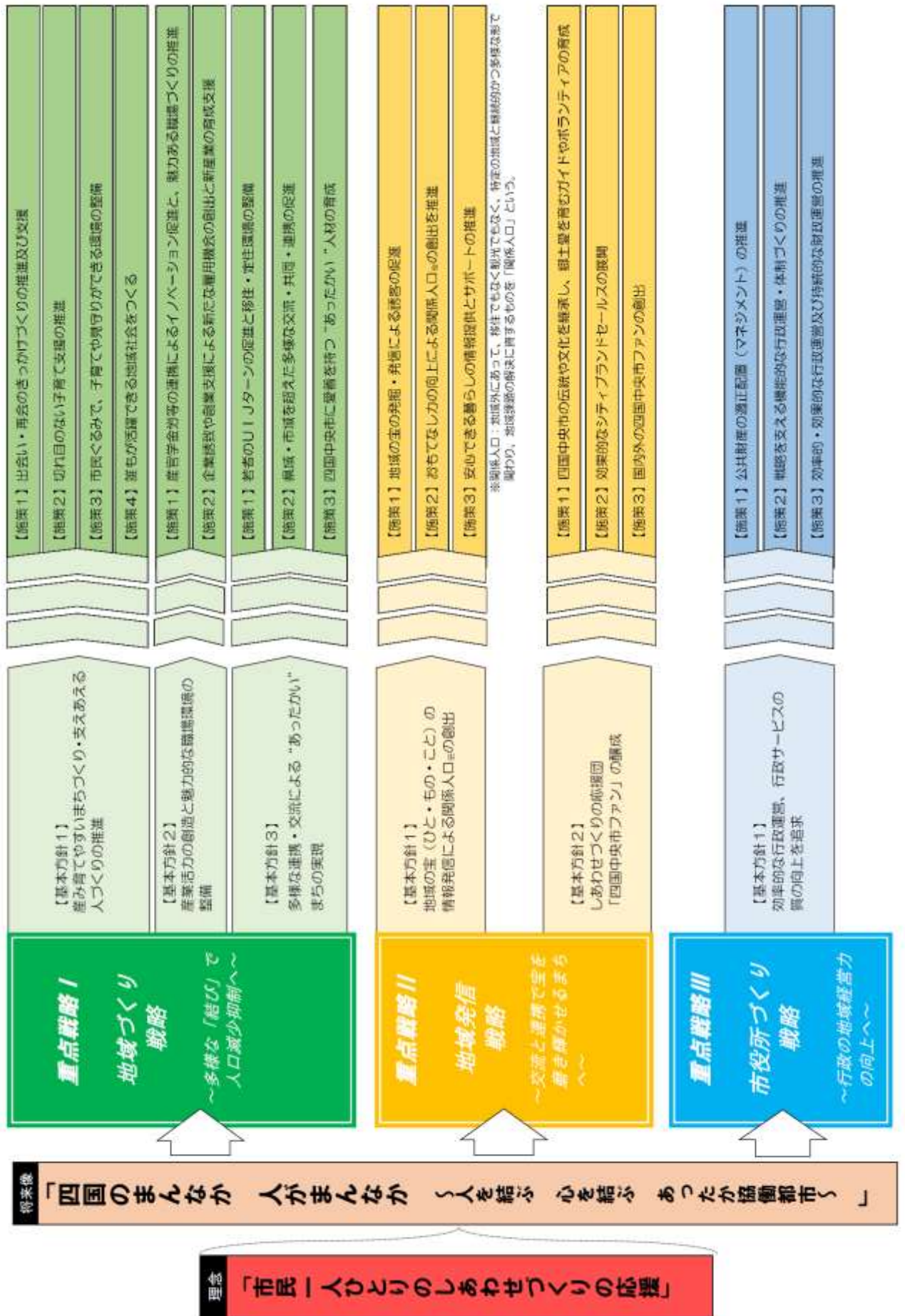
a. 人口の将来展望



	R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)
①社人研推計準拠の出生率の設定値	1.59	1.57	1.58	1.58	1.59	1.59	1.59	1.59	1.59
④四国中央市の目標出生率	1.75	1.78	1.80	1.94	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07

	2030年	2032年	2035年
目標人口	77,391	76,334	74,749
年少人口	8,831	8,940	9,104
生産年齢人口	40,856	39,952	38,597
老年人口	27,704	27,442	27,048

(3) 総合戦略の体系



2 令和3年度の主な地方創生事業実績

重点戦略Ⅰ/地域づくり戦略 ～多様な「結び」で人口減少抑制へ～

【基本方針1】産み育てやすいまちづくり・支え合えるひとづくりの推進

(1) 婚活事業(de 愛イベント)

月日	場所	参加数	マッチング	備考
6月13日	暁雨館	7名(男5×女2)	2組	優しいアロマな婚活
11月14日	あやめ池～翠波高原	20名(男10×女10)	5組	ちょこっと山歩き de 愛イベント

(2) 愛結び設置事業

期間	回数	場所	利用者数	備考
4月～3月	24回	市庁舎市民交流棟	191名	登録説明・申請サポート、閲覧

(3) 紙のまちの子育て応援乳児紙おむつ支給事業

交付人数	交付枚数	備考
517人	299,415枚	交付数は転入者を含む

(4) こども医療費助成制度(中学校卒業まで)

(5) 地域子育て拠点事業(概ね3歳未満の親子の交流・相談等)

実施箇所	施設名	延べ利用者数
6カ所	四国中市子育て支援センター(4,166人)、土居おやこ広場(3,553人)、乳児保育所こども村(777人)、みしま乳児保育園(1,039人) 親子ふれあい広場ふわりん(1,943人)、親子くつろぎスペースにこにこルーム(3,865人)	15,343人

(6) 多子世帯子育て支援金支給事業(5子以上を養育している世帯への育児支援金)

世帯状況	補助単価	交付数	補助金額
第5子	20万円	23件	460万円
第6子以降	1人当たり5万円	9件	45万円

(7) 5歳児相談事業(アンケート・個別相談)拡大

(8) 子育て応援商品券事業

国の特別定額給付金の対象外となった子どもを養育する保護者に対し保護者に飲食物や育児用品等を購入できる子育て応援商品券5万円を交付した。

交付人数	交付金額
397人	46登録店舗/24,889千円

【基本方針2】産業活力の創造と魅力的な職場環境の整備

(1) あったかしこちゅ～事業

本市への UIJ ターン、若者の定住・定着の促進を図った。

事業名	月日	場所	参加者数	企業数	備考
若手社会人 異業種合同 研修交流会	12月3日	川之江ふれあい 交流センター	43名	14社	
企業と若者の 交流会	2月5日	県民文化会館	19名	14社	オンラインによるパ ネルディスカッショ ン・企業個別面談
若者暮らし動画 発信事業	11月～	—	—	6社	市公式 Youtube にてオンライン配信
まちづくり ワークショップ	10月～12月 (3回実施)	—	のべ77名	—	4グループ

(2) 地域産業人材定着事業

ア. 高校生への紙産業PR(企業見学、水引体験等)

月日	場所	参加者数	備考
12月3日(金) 12月8日(水)	市内	土居高校1年 80名 川之江高校2年 174名	主催:紙パルプ工業会 共催:四国中央市

イ. ものづくり体験講座(講座、水引体験、工場見学、ワークショップ^o 発表会など)

月日	場所	参加者数	備考
令和3年9月9日(木) ～ 令和4年1月28日(金)	市内	三島南中1年 87名 三島東中1年 122名 三島西中1年 102名	9回 主催:紙パルプ工業会 共催:四国中央市

【基本方針3】多様な連携・交流による”あったかい”まちの実現

(1)移住相談への対応等

相談件数 12件(前年度 13 件)

※県外からの移住者数 152 世帯・178 人

(転入者任意アンケート結果/転勤・進学・結婚は含まれず)

(2)移住者住宅改修支援事業

県外からの移住者(子育て世帯1世帯)に補助金を交付する(県・市:経費の2/3)

申請なし(前年度 393万3千円交付)

(3)えひめオンライン移住フェアへの参加

月日	相談件数(事前予約制)
6月～3月(全6回)	3件

(4)地域おこし協力隊事業

ア. 活動内容

氏名	活動場所	主な活動内容	備考
小池悟嗣	新宮	新宮茶 PR	令和3年2月1日就任

イ. 募集内容

活動場所	募集人数	主な活動内容
新宮	1名	観光・移住環境整備
金砂・富郷	//	林業又はフリーミッション

(5)県・近隣市との連携

ア. 四国まんなか交流協議会(三好市・観音寺市)連携・交流事業

月日	事業名	実績	備考
4月1日～8月31日	インスタグラムフォトコンテスト	応募 1,551 件	
10月～11月	職員交流研修会	36名参加	
9月12日	3市をめぐるオンラインバスツアー	20名参加	15都府県より

イ. 東予ものづくり三市連携推進協議会(新居浜市・西条市)連携事業

愛あるえひめ暮らしフェアへの合同出展、三市広域観光プロモーション事業(外国人向けフリーペーパー掲載)は中止

月日	事業名	場所	実績
3月30日	合同就職説明会「就活地方祭」	松山市	75社 参加者 72 名
10月～2月 (5日間)	中小企業工場管理者養成研修事業	新居浜市	参加者20名 (四国中央市 4 社 7 名)

ウ. 愛媛県との連携

- ・「e 移住ネット」移住支援ポータルサイトでの情報発信
- ・「あのこの愛媛」求人・移住情報ポータルサイトの活用
- ・えひめ移住交流促進協議会への参画
- ・東予東部ものづくり若年人材確保対策協議会事業

重点戦略Ⅱ/地域発信戦略 ～交流と連携で宝を磨き輝かせるまちへ～

【基本方針1】地域の宝(ひと・もの・こと)の情報発信による関係人口の創出

- (1)移住希望者向けポータルサイト「四国まんなか生活」の運用
- (2)あったかしこちゅ～関連 Zoom 等を活用したオンラインイベント、YouTube の活用
- (3)えひめさんさん物語フォローアップ事業

【基本方針2】しあわせづくりの応援団「四国中央市ファン」の醸成

- (1)書道パフォーマンス甲子園事業(第14回大会実施、PR 動画、記念冊子作成)

予選参加校	本大会出場	備考
102 校(32 都府県)	21 校	19 歳の部新設

- (2)四国中央スカイラン(塩塚高原)
- (3)観光ボランティアガイド事業(新宮、三島の 2 コース)
- (4)ふるさと納税の返礼品
93品目追加し、計167品目とした。
(前年寄附件数寄附件数 17,734 件から 13,814 件増 31,548 件 前年比 178%増)
- (5)企業版ふるさと納税の受け入れ(愛媛信用金庫)

重点戦略Ⅲ/市役所づくり戦略 ～行政の地域経営力の向上へ～

【基本方針1】効率的な行政運営、行政サービスの質の向上を追求

- (1)公共施設等総合管理計画改定
昨年度までの策定した各個別施設計画の内容を集約。また、計画の改定、施設再編、跡地利活用について審議し、施設方針を決定した。また、計画に基づき、公共施設の保全、更新等を総合的かつ計画的に実施するため基金を設立した。(1,500,000 千円)
- (2)申請書等の押印廃止
市民や事業者の負担軽減および利便性の向上を図るために、申請書等の手続きで押印が必要な文書 1904のうち、1060 の文書押印を廃止した。

3 令和4年度の主な地方創生事業

(1) 婚活事業(de 愛イベント)

月日	場所	参加数	マッチング	備考
6月19日(日)	福祉会館	20名	5組	花束を作ろう de 愛イベント
11月13日(日)	あやめ池～翠波高原 (雨天により三島公民館)	21名	5組	Let's 山婚活

(2) 愛結び設置事業

期間	回数	場所	利用者数	備考
4月～3月	14回	市民交流棟	67名	登録説明・申請サポート、閲覧

(3) こども木育推進事業

子どもの頃から木製品に親しみを持つ木育を推進するために、1歳の誕生日を記念して木製品をプレゼントする。また、事業を進めることで木材の消費を増やし、林業の振興や森林環境の整備に役立てる。年間約550人を想定。

(4) パパ・ママ共育啓発冊子作成事業

夫婦が共に子育てを楽しむことができるまちを目指して、男性の主体的な家事・育児参画を推進するための啓発冊子を作成する。冊子は市内企業へ配布し、企業による男性の生活(育児)と仕事との調和(ライフ・ワーク・バランス)の積極的な推進に寄与することを目的とする。作成部数:5,000部

(5) 人と自然がつながる 四国中央 LOVER' s 育成事業(年長児対象)

ア. 自然体験事業

環境への理解を育むために地域の公園や神社にてネイチャーゲームを実施し、身近な自然を実際に見たり触れたりすることで、自然の美しさや面白さ、不思議さを自ら発見する。

イ. 伝統産業体験事業

伝統産業をより身近なものとして広めるために地元産業である紙漉きと水引細工を使った団扇作りを体験し、紙を作る面白さや不思議さを感じてもらう。

(6) あったかしこちゅ～事業

ア. 若者の暮らし動画発信事業

四国中央市への就職を考えるきっかけになるよう、四国中央市で働く若者の仕事と暮らしをインタビュー形式で紹介する動画を作成し、市公式 YouTube チャンネル等で配信中。令和4年度は、現在3件アップロード追加、1件編集中。

イ. 若者と企業の交流会 in 松山

出身者の U ターンを促進するため、2月22日(水)に県民文化会館(松山市)で企業と若者の対面での交流会を開催予定。

ウ. 若手社会人異業種合同研修交流会

市内の若者コミュニティ形成支援、本市への定着促進、出会い創出などを目的とする交流会

月日	場所	参加者数	企業数	備考
7月15日	川之江ふれあい交流センター	約30名	15社	

エ.まちづくりワークショップ

市民自らがまちづくりに資する事業を検討、実施することで本市への愛着を強め将来の定住に繋げる。

月日	事業名	場所	実績
7/17(日)	しこちゅ〜フェス (市民による市民のためのフェス)	川之江ふれあい 交流センター	275名来場 100名参加
11/6(日)	川之江栄町商店街 昭和レトロフェスタ ブース出展(商店街空き店舗活用)	川之江 栄町商店街	-
11/19(土)~ 11/20(日)	市産業祭 書道パフォーマンス体験 (書道パフォーマンスムーブメント)	伊予三島体育館	約150名
-	子どもの夢叶えますプロジェクト	-	-

(7)地域産業人材定着事業

ア. 高校生への紙産業PR事業(主催:紙パルプ工業会 共催:四国中央市)

市内3校において、高校生向けの紙産業PR資料による講座や企業見学等を行い、地域産業の理解の浸透を図るとともに、将来の就職先として市内企業を身近に知る機会を設けている。

7月から12月にかけて企業見学を実施中。

イ. ものづくり体験講座(主催:紙パルプ工業会 共催:四国中央市)

中学生を対象に、ものづくり体験講座として工場見学・ワークショップ・発表会などを行い、紙産業の一連の仕組みを体験学習することで、紙産業に対する職業観の醸成を図る。川之江北・川之江南・三島南中学校で、9月から12月にかけて実施中。

(8)地域おこし協力隊事業

ア. 活動内容

氏名	活動場所	主な活動内容	備考
小池悟嗣	新宮	新宮茶 PR	令和3年2月1日就任
大廣将也	〃	観光・移住環境整備	令和4年4月1日就任

イ. 募集内容

活動場所	募集人数	主な活動内容
新宮	1名	移住環境整備(空家情報集約・発信等)
金砂・富郷	〃	林業または提案型(フリーミッション)

(9)企業版ふるさと納税

5社より9,000千円を受納、電子図書館導入事業をはじめ、シティプロモーション戦略策定業務など、地方創生にかかる事業に活用した。

企業名	寄附額(千円)	受納日	活用事業
(株)マインドウェイブ	1,000	R4/6/20	シティプロモーション戦略策定支援事業 地域愛あふれる人材育成・定着事業
日本たばこ産業(株)	300	R4/9/20	シティプロモーション戦略策定支援事業
ユニ・チャームプロダクツ(株)	5,600	R4/9/16	電子図書館導入事業
(株)松原金属	2,000	R4/9/26	シティプロモーション戦略策定支援事業
(株)KingdomEntertainment	100	R4/10/24	シティプロモーション戦略策定支援事業

※令和4年度機構改革により、**政策推進課【みらい創造室】**が新設。

カーボンニュートラル、DX、シティプロモーション、SDGs等の施策を推進するために設置された。

(10)シティプロモーション事業

人口減少に対応するため、若者の U ターン及び地域の活動家等がまちづくりを自走できる下地を創ることを主な目的として実施。今年度は、今後5年間の戦略を策定。

今年度の具体的な取組内容は以下のとおり

ア.市民・職員共同のワークショップの開催

地域に暮らす人が主体的にみらいのあるべき姿を描くため、市民と職員が共同でワークショップを実施。

イ.アンケートの実施

市民が考える街のイメージやみらいの理想像について意見を伺うためオンラインでアンケート調査を実施。

ウ.シティプロモーション戦略の策定

ア、イの結果をもとに、目的の達成に向けた具体的な取組の方向性を示すシティプロモーション戦略を策定。

エ.キックオフイベントの開催

今後始まる具体的な取組のキックオフとなるイベントを開催。イベントは、今後の街の未来を担う学生等が主体的に企画運営し、達成感を感じてもらふことや、この街での思い出を作ってもらふことにより、市への愛着心の醸成を図る。

イベントでは、シティプロモーション戦略を、当市の伝統工芸である伊予水引や、当市の音、ビジュアルを用いながら親しみやすくお披露目する予定。

(11)SDGs 推進事業

市内で多様な主体が連携して SDGs を推進するため、四国中央市 SDGs 推進プラットフォームを令和4年4月に設置。同プラットフォームを軸として様々な取組を実施。

具体的な取組は以下のとおり

ア.市民向け SDGs 普及啓発イベントの開催

①SDGs ふえすた in 霧の森

プラットフォーム参画団体の SDGs に繋がる取組についてわかりやすく展示。

②海ごみアイデア発明ワークショップの開催

子どもたちに海洋環境について考えてもらうことを目的として、東京大学の海洋環境測定デバイスを学び、子供たちが新たなデバイスを発明するイベントを開催。

イ.紙製品利活用促進アイデアソンの開催

日本一の紙のまちの PR と参画団体が製造する持続可能な紙製品の全国的な利活用促進を目的として、市内企業が製造する製品の新たな利用方法や新サービス等について考えるアイデアソンを東京都にて実施。

ウ.企業向け SDGs 推進セミナーの開催

働き方の多様化を通じた人材の確保・持続可能な事業活動をテーマとしたセミナーを市内にて開催。

エ.大規模展示会への出展

参画団体のビジネスマッチングを支援するため、都内で開催される持続可能な分野の展示会に市内企業3社とともに出展。